

# 「福祉専門職としての接遇研修」開催要項

研修番号  
1

## 1. テーマ

### 「介護現場に求められる接遇」

## 2. 講 師

### よりそっと 代表 山本 正子 氏

よりそっと生きがい講座など、介護現場のスキルアップに関する研修や定期講座の企画・運営に携わる他、講師育成などのプロデュース活動、よりそっとオリジナル商品の開発、販売なども手掛け、活躍は多岐に渡る。

医療関連用品メーカーのアドバイザーの経験を活かし、病院や施設などで、介護現場の接遇から排泄ケアの向上を目的とした講義や指導を行っており、現場の職員がすぐに活かせる実践的な内容が人気で、多くの支持を得ている。講師歴は約13年。

会社員時代の経験を活かし、人生の先輩方が笑顔で暮らすことができるよう、「認知症予防」など「その人らしさを支援したい」という思いから、2014年に独立開業。屋号の「よりそっと」の由来は、「寄り添って、サポート」「排泄のことだから…より、そっと」という思いから。おむつフィッター1級、おむつフィッターJ認定講師。

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年9月2日（月） 10：00～16：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する採用後おおむね1年未満の職員

## 5. ねらい

接遇と接客との違いをはじめ、介護現場での空間管理、声掛けのポイント、チームケアに関してなど、福祉専門職として必要な視点や接遇のポイントを学びながら日頃のケアを振り返る機会とする。

介護現場において想定される接遇上の問題点などを考察し、不安や疑問の解消を図り、利用者にとって心地よいケアの提供を目指す。

## 6. 日 程

9:30 10:00

12:00 13:00

16:00

受付	講義・質疑応答	休憩	講義・演習
----	---------	----	-------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願いします。[\(http://care-net.biz//zaitakune23t/ex04-2.php#kensyu-b\)](http://care-net.biz//zaitakune23t/ex04-2.php#kensyu-b)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1) 研修会場には、受講生用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (2) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (5) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「新任職員基礎研修」開催要項

### 1. テーマ

「新任職員としての心構えとは

～新任職員にもとめられる役割とコミュニケーションの重要性を学ぶ～」

### 2. プログラム及び講師

【第1部（講義）】 10：00～12：00

テーマ：「仕事に人権感覚を生かす」

講 師：岐阜県人権懇話会会长 藤田 敬一 氏

〈プロフィール〉1939年生まれ。学生時代に部落問題（同和問題）を学び、部落解放運動に加わる。岐阜大学において人権教育に携わり、退職後も岐阜県人権懇話会会长等を務めると共に、多くの講演、執筆・編集活動を通し、豊かな人権感覚の広がりと深まり、「響き合い、重なり合う」感性、人間らしい人ととの出会いとつながりが不可欠と訴え続けている。

【第2部（講義・演習）】 12：00～12：30

テーマ：「虐待防止に関する周知・啓発活動」

講 師：名古屋市高齢者虐待相談センターおよび名古屋市障害者虐待相談センター 職員

【第3部（講義・演習）】 13：30～16：00

テーマ：「先輩職員から学ぶ～新人職員に期待される役割とは～」

講 師：【高齢種別】

社会福祉法人なごや福祉施設協会

なごやかハウス滝ノ水 デイセンター長 林 洋平 氏

なごやかハウス岳見 ケア統括長 山本 晃弘 氏

なごやかハウス丸池 ケア統括長 粟下 泰生 氏

本部事務局 施設指導担当主幹 吉澤 和晃 氏

【障害種別】

社会福祉法人名古屋ライトハウス 法人本部 統括係長 渡邊俊公 氏

### 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年9月4日（水） 10：00～16：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室・研修室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

### 4. 定員及び対象者

【定 員】100名（高齢福祉事業所50名、障害福祉事業所50名）

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する採用後おおむね1年未満の職員

## 5. ねらい

新任職員の一人ひとりが、福祉従事者として自覚することは、福祉サービス利用者へより質の高い支援を行う基盤となる。

本研修では、権利擁護を理解することで、新任職員として資質向上を図る機会とする。さらに、先輩職員の話を聞くことで、新任職員としての心得や役割を学ぶ。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00	12:30	13:30	16:00
受付	第1部 「仕事に人権感覚を 生かす」	第2部 「高齢者及び 障害者虐待防 止法の理解」	昼 休 憩	第3部 「先輩職員から学ぶ ～新任職員に期待される役割とは」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※今年度は、12時から30分間、高齢者および障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施させていただきます。

## 7. 申込期限

### 令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1) 本研修は、7月25日（木）に開催した研修と同一内容です。
- (2) 研修会場には、受講生用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「障害福祉制度研修」開催要項

研修番号

3

## 1. テーマ

「障害者総合支援法や関連法の基礎的理解」

## 2. 講 師

桜山女子大学 人間関係学部 人間関係学科 教授 手嶋 雅史 氏

## &lt;プロフィール&gt;

愛知県出身。知的障害者入所更生施設、身体障害者授産施設、障害者就業・生活支援センターのソーシャルワーカーなど20年に及ぶキャリアを経て大学教員となる。専門は障害者の生活・就労に関する支援研究。社会福祉士国家資格を持ち、日本グループホーム学会にも所属。

最近は、「障害者への虐待と差別禁止に関する支援の具体的形態とその内容」「障害者相談支援従事者の生活や就労支援の特徴と事業所間連携」「社会福祉士が担う一般企業における障害者雇用を中心とした専門性とその役割」などを研究。また社会活動として愛知県障害者差別解消調整委員会委員、愛知県障害者相談支援スーパーバイザー、名古屋市福祉サービス苦情相談センター苦情調整委員等としても活躍。他にも社会福祉法人・NPOの理事など務めている。

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年9月6日（金） 10：00～16：30

【会 場】名古屋国際会議場 2号館2階 232/233号室

名古屋市熱田区熱田西町1-1

最寄駅：地下鉄「日比野」「西高蔵」駅から徒歩5分

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】障害者（児） 支援関係業務従事者

## 5. ねらい

障害者総合支援法や障害者虐待防止法、差別解消法などの概念や制度策定までの時代背景等の基礎知識から、利用者を支援するにあたっての姿勢を振り返る機会とする。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	14:00	16:00 16:30
受付	講義 「障害者総合支援法が 目指すもの～基礎的理解～」	休憩	講義 「虐待防止・差別解消 等の関連法の基礎知識」	演習 (グループワーク) まとめ

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※今年度は、16時から30分間、名古屋市障害者虐待相談センターによる障害者虐待の防止と対応についての研修を実施させていただきます。

## 7. 申込期限

令和元年 8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願  
いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落  
選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1) 研修会場には、受講生用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しくださ  
い。
- (2) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (5) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「介護技術研修（入浴介助）」開催要項

研修番号

4

## 1. テーマ

## 「入浴・清潔研修」

## 2. 講 師

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木 直美 氏

（日本福祉大学中央福祉専門学校において学生指導を行うほか、愛知県内で開催される現任介護職員研修、実務者研修、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。）

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科専任教員 板部 美紀子 氏

（病院での看護師勤務、日本福祉大学社会福祉総合研修センター専任講師等を経て現職。愛知県内で開催される現任介護職員研修、実務者研修、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。）

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年 9月19日（木） 10：00～16：00

【会 場】日本福祉大学中央福祉専門学校 503教室・介護実習室・入浴実習室

（中区千代田3-27-11 最寄駅：地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅・JR中央線「鶴舞」駅）

## 4. 定員及び対象者

【定 員】40名（原則、1施設につき1名）

【対象者】高齢・障害福祉関係事業所に勤務する職員

## 5. ねらい

利用者の身体を清潔に保つことは健康維持に大変重要であり、入浴介助は介護職員にとって欠かせない技術である。しかし、羞恥心を伴う行為であるため、尊厳についても配慮しなければならない。

そこで、入浴介助に必要な基礎知識と基本動作やその手順について学び、入浴介助をする側と、される側を体験することで、利用者の気持ちを理解するとともに、介助のポイントを習得する。

## 6. 日 程

9:30 10:00		12:00 13:00		16:00
受付	講義	更衣	休憩	・演習「清拭および入浴介助」 ・グループワーク

※男女別のグループで清拭介助と入浴介助の介護者・利用者を体験します。

清拭…全員が介護者・利用者体験 入浴…利用者体験は一部の方のみ

※全員の入浴体験はできませんので、ご了承ください。当日、グループから入浴利用者を選出いたします。お手数ですが、念のため全員水着のご準備をお願いします。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

**7. 申込期限****令和元年 8月10日（土）**

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

**8. その他(注意事項等)**

- (1) 体調不良、皮膚のトラブル等で演習ができない場合、当日、講師とご相談ください。
- (2) 研修会場および周辺は、全館禁煙です。
- (3) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (4) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (5) 本研修は、7月19日（金）に開催した研修と同一内容です。

### <服装・持ち物>

**【演習の服装・身だしなみ】**

- ・Tシャツ
- ・ジャージ下（長ズボン）
- ・介護実習室用上履き（スリッパ、ビーチサンダル不可）
- ・アクセサリー着用不可
- ・爪は短くしてください
- ・長い髪は束ねてください

※演習にふさわしい服装・身だしなみでご参加ください。

**【入浴利用者の準備】（念のため全員水着のご準備をお願いします。）**

- ・水着（ワンピース型、セパレート型のどちらでも可。無い場合は、キャミソールまたはタンクトップと短パンでも可（ハーフパンツ不可））
- ・入浴実習用上履き（清潔なゴム底のビーチサンダルなど）
- ・シャワーキャップ（髪が濡れる場合があるので必要に応じて）

**【その他持ち物】**

- ・バスタオル2枚
- ・フェイスタオル2～3枚
- ・ハンドタオル1枚
- ・ビニール袋（濡れた服やタオルを入れるもの）
- ・ぞうきん1枚
- ・筆記用具
- ・昼食

※必要に応じて予備の衣類・下着・靴下

## 「放課後等デイサービス研修」開催要項

研修番号

5

## 1. テーマ

「放課後等デイサービス事業に関する基礎知識と  
子どもの発達と最善の利益を考慮した支援について」

## 2. 講 師

NPOあいち障害者センター 理事長 近藤直子 氏

1973年京都大学教育学部卒業、京都大学大学院教育学研究科博士課程を中退し、1977年に日本福祉大学赴任。2009年に副学長就任。1973年より18ヶ月児健診後の発達相談も担当。現在はNPOあいち障害者センターの理事長を務め、実態調査から相談活動、講座、出版など幅広く活動している。

主な著書:『子どもたちに幸せな日々を』(全国障害者問題出版部、2018)、『子どものかわいさに出あう』(クリエイツかもがわ、2017)、『療育って何?』(クリエイツかもがわ、2018)など多数。

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年9月25日(水) 10:00~16:00

【会 場】名古屋国際会議場 2号館2階 232/233号室

名古屋市熱田区熱田西町1-1

最寄駅:地下鉄「日比野」「西高蔵」駅から徒歩5分

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】障害児支援関係業務従事者

## 5. ねらい

放課後等デイサービス事業の成り立ち等の背景や事業所職員として必要な視点について再確認するとともに、他機関との連携や、サービスを利用する子どもや保護者との関わり方・支援方法について学ぶ。また演習を通して自身の日頃の支援の振り返りを行いながら、よりよい支援について考える機会とする。

## 6. 日 程

9:30 10:00

12:00 13:00

16:00

受付	<講義> 「放課後等デイサービス事業に関する歴史・基本理念」 「障害児の最善の利益について考える」	休憩	<講義・演習> 「障害特性に合わせた子どもへの支援のポイント」 「他機関との連携の重要性について」 「家族・保護者との関わり方」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。「受講決定のお知らせ（事前レポート）」を受け取った方は、期限までに名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センターのホームページで、事前課題の回答を入力いただき登録ください。  
※詳細はホームページに掲載されている「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。
- (2) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (3) 研修会場には、受講者用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「アンガーマネジメント研修」開催要項

研修番号

6

## 1. テーマ

## 「怒りの感情と上手に付き合うために」

## 2. 講 師

株式会社 日本マネジメント協会 香山 由紀 氏

昭和52年 日本航空 国際線客室乗務員として入社  
 平成18年～22年 (株) JALビジネス 研修講師  
 平成28年 日本マネジメント協会 専任講師 就任  
 平成29年～30年 JAL OG会関西支部長 就任  
 日本アンガーマネジメント協会 ファシリテーター、アンガーマネジメントアドバイザー

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年9月26日(木) 10:00～16:00

【会 場】名古屋国際会議場 2号館2階 222/223号室  
 名古屋市熱田区熱田西町1-1  
 最寄駅:地下鉄「日比野」「西高蔵」駅から徒歩5分

## 4. 定員、対象者及び受講条件

【定 員】100名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する職員

## 5. わらい

近年、ストレスの多い社会生活の中で、イライラをつのらせたり、つい怒りを感じ、態度や言葉に出してしまった後で後悔する、という経験のある方も多いのではないでしょうか。

そこで本研修では、心理トレーニングであるアンガーマネジメントについて学び、怒りや悲しみ等の感情をコントロールし、状況を客観的に見るための方法を学ぶことで、衝動的に感情が高まっても自身で沈静化し適切に対処できる力を身につける機会とします。

## 6. 日 程

9:30 10:00

12:00 13:00

16:00

受付	講義・演習 「1. アンガーマネジメントとは」 「2. アンガーマネジメント入門講座」	休憩	講義・演習 「3. アサーティブコミュニケーションについて知る」 「4. 怒らない伝え方、叱り方」 「5. アンガーマネジメント診断」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。※適宜休憩を設けます。

※プログラムにより若干時間を変更する場合がございます。

**7. 申込期限**

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。 (<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

**名古屋市社協** と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

**8. その他(注意事項等)**

- (1) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (4) 当⽇は所属で使⽤されている名札をお持ちください。

## 「薬学基礎知識研修」開催要項

研修番号  
7

### 1. テーマ

「福祉専門職として、これだけは知っておきたい薬の基礎知識」

### 2. 講 師

名古屋市薬剤師会 近藤 満里子 氏

### 3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和元年9月30日（月） 10：00～16：00

【会 場】 名古屋市高齢者就業支援センター 大会議室

名古屋市昭和区御器所通3-12-1 御器所ステーションビル5F

最寄駅：地下鉄 鶴舞線・桜通線「御器所」駅

### 4. 定員及び対象者

【定 員】 180名

【対象者】 高齢・障害福祉事業所に勤務する職員

### 5. ねらい

薬には副作用があるものも多いため、利用者の心身の状態と薬の効果・作用等についてよく理解し、正しい知識を身に付けることが大切である。そこで、福祉専門職に必要な服薬管理に関する基礎知識及び副作用や相互作用、注意点について学ぶ事で、利用者の安全確保につなげる機会とする。

### 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	16:00
受付	〈講義〉 「薬の基礎知識」	休憩	〈講義〉 「疾病・症状と薬について」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

### 7. 申込期限

令和元年 8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他

- (1) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。「受講決定のお知らせ（事前レポート）」を受け取った方は、期限までに名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センターのホームページで、事前課題の回答を入力いただき登録ください。  
※詳細はホームページに掲載されている「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。
- (2) 研修会場への自動車での来場はご遠慮ください。
- (3) 当日は、座席により空調の風向・風量が異なる為、温度調整のできる服装でお越し下さい。
- (4) 敷地内は禁煙となっております。
- (5) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。

## 「強度行動障害研修」開催要項

### 1. テーマ

#### 「強度行動障害の基礎的知識と支援法」

### 2. 講 師

社会福祉法人 大府福祉会 たくと大府

施設長 林 大輔 氏

平成10年、大府福祉会入職。以来、専ら自閉症や行動障害の強い方の支援を担当。平成28年4月、行動障害の強い方も不安なく過ごせることを目指した生活介護事業所、たくと大府が開所。TEACCHプログラム研究会愛知支部代表、強度行動障害支援者養成研修講師を務める。

### 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年10月4日(金) 10:00~16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室  
名古屋市北区清水4-17-1  
最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

### 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】障害者(児)福祉施設に勤務する職員

### 5. ねらい

強度行動障害の基礎知識及び特性に配慮した支援法を学ぶことで、自傷・他害行為を減らし、虐待の予防につなげる。

### 6. 日 程

9:30 10:00 12:00 13:00 16:00

受付	<講義> 「強度行動障害とは」	休憩	<講義・演習・ロールプレイ> 「強度行動障害のある方への支援の実際」
----	--------------------	----	---------------------------------------

※一部内容を変更する場合があります。※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

### 7. 申込期限

令和元年8月10日(土)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日(月)までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他(注意事項等)

- (1) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。「受講決定のお知らせ（事前レポート）」を受け取った方は、期限までに名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センターのホームページで、事前課題の回答を入力いただき登録ください。  
※詳細はホームページに掲載されている「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。
- (2) 研修会場には、受講者用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (5) 当⽇は所属で使⽤されている名札をお持ちください。

## 1. テーマ

「ファシリテーターとしての役割やスキルを学ぶ」

## 2. 講 師

株式会社日本マネジメント協会 中小企業診断士 宇井 克己 氏

トヨタ自動車や自動車メーカーへの営業・海外営業を担当し、お客様第一主義を徹底的に学ぶ。

その後社団法人中部産業連盟勤務を経て、平成20年 株式会社ナレッジ・プラクティス・コンサルティングを法人化 代表取締役社長に就任。

平成25年 株式会社日本マネジメント協会(中部) 経営コンサルタントに就任。

民間企業や「人を強くする」をコンセプトに、一部上場企業から小規模企業まで幅広く「会議活性化」、「管理職育成」、「営業力強化」などのコンサルティング・研修を行っている。

官公庁で講演・セミナーを年間145日、コンサルタントは年間102日開催(2015年実績)。現在も精力的に講演・セミナー等を開催している。

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年10月7日（月） 10：00～16：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に従事し、概ね経験年数3～5年の職員

## 5. ねらい

会議では結論までに時間がかかるといったことや、発言が少ない等がよく問題となる。

そこでファシリテーターとしての役割やスキルを学ぶことで、職場のミーティングを活性化するうえで求められる、「対話の場づくり」、「合意形成」「会議における効果的・効率的な運営」等の技術を含めたファシリテーション能力の向上を図る。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	16:00
受付	講義・演習	休憩	講義・演習

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (2) 昼食は各自でおとりください。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (5) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「介護技術研修(体位変換・移乗)」開催要項

研修番号

10

## 1. テーマ

## 「体位変換と移乗の基本を学ぶ」

## 2. 講 師

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科専任教員 板部 美紀子 氏

病院での看護師勤務、日本福祉大学社会福祉総合研修センター専任講師等を経て現職。愛知県内で開催される現任介護職員研修、実務者研修、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。

日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木 直美 氏

日本福祉大学中央福祉専門学校において学生指導を行うほか、愛知県内で開催される現任介護職員研修、実務者研修、初任者研修など多くの研修で指導実績をもつ。

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年10月10日 (木) 10:00～16:00

【会 場】日本福祉大学中央福祉専門学校 503教室・介護実習室・入浴実習室

(中区千代田3-27-11 最寄駅:地下鉄鶴舞線「鶴舞」駅・JR中央線「鶴舞」駅)

## 4. 定員及び対象者

【定 員】40名(原則、1施設につき1名)

【対象者】高齢・障害福祉関係事業所に勤務する職員

## 5. ねらい

介護技術の中でも、体位変換と移乗は、利用者の生活のあらゆる場面で必要とされる技術である。それだけに、この技術をしっかりと身につけることは、利用者に日々安心・安全な暮らしを送っていただくために必須であり、同時に、介護職員自身の腰痛防止など、自らの安全を確保するためにも、極めて重要である。本研修では、技術のベースとなる、体の使い方についての理論を講義で学ぶとともに、ボディメカニクスなどを用いての演習により、技術の基本を身につけることを目標とする。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	11:00	12:00 13:00	16:00
受付	講義 「体位変換と移乗介助の基本を学ぶ」	演習 「体位変換と移乗」	休憩	・演習「体位変換と移乗」 ・グループワーク

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。

※更衣をされる方は講義前にお済ませ下さい。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

### 令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1) 研修会場および周辺は、全館禁煙です。
- (2) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 研修当日は演習用に下記のものを必ずお持ちください。
- (5) 本研修は、8月26日（月）に開催した研修と同一内容です。

## ＜持ち物＞

① 演習時服装：職場のユニフォーム（ない場合はジャージ上下着用）

清潔な靴下（素足は不可）

※運動靴（スリッパ・サンダル・ヒールのある靴は不可）

※ジーンズ、ベルト、アクセサリー、パーカー不可

※長い爪不可

※長い髪の方は必ず束ねてください。

② 筆記用具

③ 昼食（各自用意）及び、空箱持ち帰り用ビニール袋

## 「普通救命研修」開催要項

研修番号  
1 1

## 1. テーマ

## 「救急法について学ぶ

～“もしも”のための応急手当（普通救命講習）～

## 2. 講 師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年10月17日（木） 9：00～12：00

【会 場】昭和消防署 4階 応急手当研修センター

（昭和区御器所通2-16-1 最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅）

## 4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

## 5. 参加費

200円

※心肺蘇生法実技における人工呼吸の際に使用する感染防止用補助具『キーマスク』代となり  
ます。研修当日の受付時に徴収させていただきますので、お釣りのないようにご用意ください。

## 6. ねらい

施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

## 7. 日 程

8:45 9:00

12:00

受付	講義・実技 「救急法について学ぶ」
----	----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

## 8. 申込期限

令和元年 8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 9. その他（注意事項等）

- (1) 本研修は消防署が行う「普通救命講習」と同一内容で、修了証が発行されます。  
既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にお持ちいただき、受付時にご提出ください。
- (2) 実技に備えて、多少汚れても構わない、運動しやすい服装（スカート等不可）をし、運動靴等のかかとの低い靴でお越しください。また、髪の長い方は結束するなどして、実技に支障のないようにしてください。
- (3) 欠席の場合は、必ずご連絡ください。（連絡先TEL：745-6660）また、遅刻や早退をされた場合は修了証が発行されませんので、ご注意ください。
- (4) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (5) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (6) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (7) 本研修は、7月5日（金）に開催した研修、および8月21日（水）、11月5日（火）、12月23日（月）、令和2年2月13日（木）に開催予定の研修と同一内容です。

## 「会計基礎研修Ⅱ」開催要項

研修番号

1 2

## 1. テーマ

## 「社会福祉法人の会計実務と財務分析 ～具体的な会計処理の実務と経営課題の把握～」

2. プログラム及び講師 ※プログラムを分けて実施します。テキストは、5. 参加費をご確認ください。

### 【Aコース…会計実務担当職員向け】

講義・演習

テーマ 「社会福祉法人の注意すべき会計処理とチェックリストの活用について  
～社会福祉法人会計の特徴的な処理とチェックリストを使った月次経理業務～」

講 師 田中会計事務所 税理士 吉野 縫子 氏

### 【Bコース…経営者・管理者向け】

講義・演習

テーマ 「社会福祉法人のガバナンス強化と財務分析について  
～自法人の事業運営状況の評価と課題把握～」

講 師 田中会計事務所 税理士 吉野 仁 氏

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和元年10月18日(金) 10:00～16:00

【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室、研修室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】 各コース100名ずつ

【対象者】 会計実務担当職員及び経営者・管理者

## 5. 参加費

テキスト代：3,000円

※A・B両コースともテキストを使用しますので、当日受付で購入していただきます。

(7月22日に実施した「会計基礎研修Ⅰ」で購入していただいたテキストと同一のものです。購入いただいている場合、再購入は不要です。)

テキスト『経営力を高める社会福祉法人会計の実践～予算の立て方から決算まで～』

(田中育雄／吉野縫子／吉野仁：清文社)

## 6. ねらい

Aコース：会計実務担当職員向けに、簿記会計の基礎である仕訳を中心に、社会福祉法人特有の注意すべき会計処理、月次処理等の基礎を学びます。

Bコース：経営者・管理者向けに、ガバナンスについての実務上の注意点及び財務分析について学び、自事業所の課題の把握や、今後の対応等について考えます。

## 7. 日 程

	9:30 10:00	12:30 13:30	16:00
受付	【A コース】 「社会福祉法人の注意すべき会計処理とチェックリストの活用について」	休憩	【A コース】 「社会福祉法人の注意すべき会計処理とチェックリストの活用について」
	【B コース】 「社会福祉法人のガバナンス」		【B コース】 「社会福祉法人のガバナンス」

※開始 5 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 8. 申込期限

## 令和元年 8 月 10 日 (土)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日(月)までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」を FAX で通知いたします。

## 9. その他(注意事項等)

- (1) 申込時に、受講コース (A : 会計実務担当職員向け、B : 経営者・管理者向け) をお選びください。
- (2) 当日電卓が必要となります。
- (3) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。
- (4) 本研修は、名古屋市保育企画室の所管法人にもご案内しております。
- (5) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越し下さい。
- (6) 昼食は各自でおとりください (会場での飲食は可能です)。
- (7) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (8) 空調管理の調節が難しい為、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (9) 社会福祉法人会計に関する研修を年3回実施しています。1回だけの受講も可能ですが、連続受講を推奨します。 第1回目 (7月22日開催分) は終了しましたが、第2回目からのご参加も可能ですので、ぜひご予定ください。

## 次回の研修内容について (内容は予定、開催日は共通です。)

第3回：令和元年12月13日(金)

Aコース 第3回：社会福祉法人の予算・決算 作成すべき計算書類

Bコース 第3回：社会福祉法人の予算・決算と事業計画

## 「発達障害研修」開催要項

研修番号

1 3

## 1. テーマ

「自閉症の特性と支援の組み立てに必要な行動の見方や  
アセスメントについて」

## 2. 講 師

アイズサポート 代表 伊藤 久志 氏

認定行動療法士。中京大学大学院修士課程修了後、総合病院精神科児童外来、クリニック小児科、N P O 法人にて発達臨床を経験する。現在は、アイズサポートにて、幼児から大人までの主に発達障害のある人たちの個別支援、コンサルテーション、保護者支援を行っている。

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年10月21日（月） 9：15～15：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】障害者(児)支援関係に勤務する職員

## 5. ねらい

現場で困っていることについて具体的な支援方法を知りたいというニーズが多くあります。本研修では、具体的な支援を組み立てるために、まず必要となる行動の見方やアセスメントについて学びます。利用者の行動の目的を読み取り、どんな支援が必要なのかがわかることで具体的な支援につなげていくことをねらいとします。

## 6. 日 程

9:00 9:15

11:45 12:30

15:00

受付	【講義】 「自閉症の特性について」 「行動を見る」 「行動のアセスメントについて」	昼休憩	【講義・演習】 「アセスメント演習」 「模擬事例演習」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩は45分間です。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願  
いします。 (<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

**名古屋市社協** と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

#### 8. その他(注意事項等)

- (1) 会場駐車場は、受講生のための駐車場ではありませんので、公共交通機関でお越し  
ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いすることになります。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 空調調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (5) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会、名古屋市発達障害者支援セ  
ンターりんくす名古屋、社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会及びサンハートと  
共催になります。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「スーパービジョン入門研修」開催要項

研修番号

1 4

## 1. テーマ

「福祉・介護職員を支え育てるスーパービジョン～その手法を知る～」

## 2. 講師

ソーシャルワーカー・サポートセンター名古屋 (SSN) 代表 浅野 正嗣 氏

1949年生まれ。日本福祉大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程満期退学・福祉マネジメント修士。

主な職歴として、名古屋大学医学部付属病院・MSW、愛知県医師会難病相談室・MSW、刈谷豊田総合病院医療社会福祉部・MSW、金城学院大学人間科学部・教授を歴任。

その他の活動として、日本福祉大学非常勤講師、ソーシャルワーカー・サポートセンター名古屋代表、一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会監事、刈谷中部地域包括支援センターアドバイザー、豊橋市民病院患者総合支援センター医療福祉相談スーパーバイザー。

著書として、『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン 支援の質を高める手法の理論と実際』(編著)ミネルヴァ書房 2018年、『スーパービジョンインソーシャルワーク第5版』(翻訳共著者数13名) 中央法規 2016年11月発行、『ソーシャルワーク・スーパービジョン実践入門』(編著)みらい 2011年

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年10月28日(月) 10:00～17:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務し、従事期間が概ね3～5年の職員

## 5. ねらい

初心者やスタッフを支えるとともに、指導・助言を通して成長を促す指導法のひとつとなるスーパービジョンについて、基礎理論や、指導者であるスーパーバイザーの役割、スーパーバイザーの成長を促すための方法など、職場全体の対人援助職としての専門性を向上させ、利用者の処遇向上に繋がるよう基本的な方法論を学ぶ。

※本研修は、1日のみの入門編となります。

より専門的・実践的な内容を学びたい方向けに「スーパービジョン実践研修(3日間)」を、  
12月4日(水)、11日(水)、18日(水)に開催します。

## 6. 日程

	9:30 10:00	12:00 13:00	16:30	17:00
受付	講義	昼休憩	講義・演習	高齢者及び障害者虐待防止法の理解

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。※昼休憩(1時間)以外にも適宜休憩を設けます。

※今年度は、16時30分から30分間、高齢者及び障害者虐待防止法についての理解を図る研修を実施させていただきます。

## 7. 申込期限

### 平成30年 8月10日（金）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選  
のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他

- (1) 本研修は、8月8日（木）と同一内容です。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「多職種連携研修」開催要項

研修番号

15

## 1. テーマ

「地域住民とともにインクルーシブな社会をめざす地域包括ケアネットワークの構築

～広範な生活課題の把握と法人・事業所・専門職の取り組み～」

## 2. 講師

特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター 理事長  
合同会社TKT福祉経営研究所 代表 田島 誠一 氏

## &lt;プロフィール&gt;

日本社会事業大学社会福祉学部卒業、社会福祉法人聖隸福祉事業団に就職、保育士、保育所所長、病院総務課長、本部事務局総務部長、病院事務長、高齢者総合施設長、常務理事などを歴任。2004年日本社会事業大学専門職大学院開設と同時に特任教授に就任（兼務）、2006年から2013年まで財団法人日本老人福祉財団理事長、2014年4月から2019年3月まで日本福祉大学福祉経営学部教授。

厚生労働省社会・援護局「社会福祉法人経営研究会」委員（2006年）、全社協「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程運営委員会」委員長（2012年～現在）、厚生労働省「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」委員（2013～2014年）などを務めてきた。

## &lt;主な著書&gt;

『社会福祉法人の経営改革（社会保険研究所、2009年）』

『病院管理（共編、建帛社、2012年）』

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月1日（金） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】80名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する職員（役員・管理者を含む）

## 5. ねらい

今、一見豊かな社会に見えるこの国で、様々な社会・生活課題が大きくなっています。独居老人・「引きこもり」・「孤育」・老老介護・社会的孤立など多様な課題が見えています。地域とのつながりが希薄になっていることや、制度ごとに縦割りになっている支援などが、十分な対応を阻んでいるようにも思えます。

医療・介護・介護予防・住まい・教育・生活支援が一体的に提供されることをめざす「地域包括ケアシステム」の推進がうたわれています。地域共生社会とは、「誰も取り残さない」社会を言

うのだと思われます。社会福祉施設・事業所がこれまで以上のサービス向上を目指すのはもちろんですが、これに加え、住まい・教育・社会的排除などのさらに幅広い社会生活課題を解決し「共生社会」を構築するための働きも求められています。

また、社会福祉施設や福祉専門職だけで課題解決するのではなく、福祉・医療関係職種を超える教育・司法などさまざまな専門職や地域住民(組織)などとの連携と協働が求められています。社会福祉に関わる法人・施設には、これまでの豊かな経験と専門職の力があります。この力を生かして、地域共生社会構築の中心的な役割を発揮することが求められています。

「地域包括ケアシステム」が社会福祉施設・事業所に求める役割を理解するとともに、利用者に必要とされる施設・事業所のあり方だけ、誰もが住み続けたくなる地域づくりに必要な法人・施設・職員・諸機関・多職種・地域住民の連携・協働の仕組みづくりと実践の方法を考えていきます。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	16:00
受付	講義 「地域住民を含む広範な連携・協働において社会福祉施設・事業所が果たすべき役割」	休憩	講義・演習 「『地域共生社会の実現に向けた施設・事業所の取り組み』について考える」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願いします。（<http://care-net.biz//zaitakune23t/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日(月)までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他(注意事項等)

- (1) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳しくは後日FAXにて通知される「受講決定のお知らせ（事前レポート）」をご覧ください。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、公共交通機関でお越し下さい。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調節ができる服装で受講ください。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「普通救命研修」開催要項

研修番号  
16

## 1. テーマ

## 「救急法について学ぶ

～“もしも”のための応急手当（普通救命講習）～

## 2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月5日（火） 9:00～12:00

【会 場】昭和消防署 4階 応急手当研修センター

（昭和区御器所通2-16-1 最寄駅：地下鉄鶴舞線・桜通線「御器所」駅）

## 4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

## 5. 参加費

200円

※心肺蘇生法実技における人工呼吸の際に使用する感染防止用補助具『キーマスク』代となり  
ます。研修当日の受付時に徴収させていただきますので、お釣りのないようにご用意ください。

## 6. ねらい

施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

## 7. 日程

8:45 9:00

12:00

受付	講義・実技 「救急法について学ぶ」
----	----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

## 8. 申込期限

令和元年 8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 9. その他（注意事項等）

- (1) 本研修は消防署が行う「普通救命講習」と同一内容で、修了証が発行されます。  
既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にお持ちいただき、受付時にご提出ください。
- (2) 実技に備えて、多少汚れても構わない、運動しやすい服装（スカート等不可）をし、運動靴等のかかとの低い靴でお越しください。また、髪の長い方は結束するなどして、実技に支障のないようにしてください。
- (3) 欠席の場合は、必ずご連絡ください。（連絡先TEL：745-6660）また、遅刻や早退をされた場合は修了証が発行されませんので、ご注意ください。
- (4) 研修会場には専用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (5) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (6) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (7) 本研修は、7月5日（金）に開催した研修、および8月21日（水）、10月17日（木）、12月23日（月）、令和2年2月13日（木）に開催予定の研修と同一内容です。

# 「対人援助技術研修」開催要項

研修番号  
1 7

## 1. テーマ

「対人援助職のコミュニケーション技術について」  
～基本的な知識と方法を講義と演習で考える～

## 2. 講 師

兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人 氏

障害者施設で10年、高齢者施設で約15年、介護職・相談員・ケアマネジャー・施設長等を経験。  
2010年秋よりフリーランス講師として対人援助職者の支援・育成に取り組んでいる。  
執筆等：「利用者の本当の思い・想いを引き出す相談援助」「相談援助&運営管理第4巻第2号  
P.23～P.27」、2013.5、日総研出版、「介護支援専門員専門研修I 演習ワークブック」2016.5、  
兵庫県社会福祉協議会、分担執筆

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月7日（木） 10：00～16：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に従事し、従事期間が3年未満の者

## 5. ねらい

対人援助職としての役割や求められる姿勢、ケアの本質（価値や倫理）等学ぶとともに、演習を交えながら他職員との円滑な意思疎通や協力・連携の向上、利用者・家族をより理解するために必要なコミュニケーションスキルを学ぶ。

## 6. 日 程

9:30 10:00

12:00 13:00

16:00

受付	講義・演習 「対人援助について」～基本的視点～	休憩	講義・演習 「コミュニケーションについて」～基本的視点～
----	----------------------------	----	---------------------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。 ※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

8. その他

- (1) 令和元年7月8日（月）に開催した研修と同じ内容になります。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「労務管理研修」開催要項

研修番号

18

## 1. テーマ

「社会福祉施設における労務管理と法律制度  
～適切な労務管理に関する基礎知識と必要書類の作成～」

## 2. 講 師

一般社団法人名北労働基準協会 労働保険部業務推進室長  
特定社会保険労務士 加藤 豊 氏

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月11日（月） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉社会館 7階 大会議室  
名古屋市北区清水4-17-1  
最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する管理者、人事・労務事務担当者

## 5. ねらい

近年では施設経営環境の変化に伴い、常勤や非常勤、パート勤務といったさまざまな雇用形態があり、労働時間管理や就業管理もこれまで以上に煩雑になっている。そこで、福祉施設の職場・職員に関する労務管理や法律制度の基礎知識、さらに具体的な事例を元にしたケーススタディから労務管理に必要な書類作成を行い、職員が働きやすい良好な職場環境を整える方策について考える機会とする。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	16:00
受付	講義・演習 「福祉施設における 労務管理と法律制度」 「労務管理・ 必要書類作成の基礎知識」	休憩	講義・演習 「福祉施設における 労務管理と法律制度」 「労務管理・ 必要書類作成の基礎知識」

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

### 令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

- (1)研修会場には、受講者用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。
- (2)講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3)昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4)空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。
- (5)当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

# 「権利擁護研修」開催要項

研修番号  
19

## 1. テーマ

### 「高齢者・障害者のための権利擁護支援を学ぶ」

## 2. プログラム及び講師

【第1部 (講義)】 10:00 ~ 10:45

テーマ:「権利擁護の視点」

講 師:名古屋市社会福祉協議会 権利擁護推進部 部長 伊藤 秀司 氏

【第2部 (講義)】 10:45 ~ 12:15

テーマ:「高齢者・障害者の虐待について」「障害者差別について」

講 師:高齢者虐待相談センター・障害者虐待相談センター 所長 弘田 直紀 氏  
(障害者差別相談センター 統括責任者)

【第3部 (講義)】 13:15 ~ 14:15

テーマ:「日常生活自立支援事業について」

講 師:障害者・高齢者権利擁護センター北部事務所 副所長 榊原 康夫 氏

【第4部 (講義)】 14:25 ~ 15:25

テーマ:「成年後見制度について」

講 師:成年後見あんしんセンター 副所長 高橋 健輔 氏

【第5部 (演習)】 15:30 ~ 16:30

テーマ:「振り返りグループワーク・まとめ」

講 師:成年後見あんしんセンター 副所長 高橋 健輔 氏

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和元年11月18日（月） 10:00~16:30

【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】 100名

【対象者】 高齢・障害福祉事業所に勤務する職員

## 5. ねらい

判断能力が低下した方の権利を守るための成年後見制度や障害者差別・虐待についての基礎知識や  
関係機関とその役割などを学び、権利擁護の理解を深める。

## 6. 日程

9:30	10:00	10:45	12:15	13:15	14:15	14:25	15:25	15:30	16:30
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

受付	第1部【講義】 「権利擁護の視点」	第2部【講義】 「高齢・障害者の虐待について」	昼休憩	第3部【講義】 「日常生活自立支援事業について」	休憩	第4部【講義】 「成年後見制度について」	休憩	第5部【演習】 「振り返りグループワーク・まとめ」
----	----------------------	----------------------------	-----	-----------------------------	----	-------------------------	----	------------------------------

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩（1時間）以外にも適宜休憩を設けます。

※講義の順序は都合により変更となる場合があります。

## 7. 申込期限

令和元年 8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。（<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他

- (1) 令和2年2月19日（水）に、同一内容で研修を実施します。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (3) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (4) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (5) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (6) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「障害児支援基礎研修」開催要項

研修番号

20

## 1. テーマ

「障害児支援に携わる職員として大切な視点と  
個別支援計画に基づく適切な支援方法について」

## 2. 講 師

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館

東部地域療育センターぽけっと 副所長 加藤 淳 氏

社会福祉法人あさみどりの会

児童発達支援センターさわらび園 園長 山本 智恵 氏

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月25日（月） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】障害児福祉事業所に勤務する職員等

## 5. ねらい

障害児支援の基本的な理念や利用児童それぞれの発達段階に応じた支援方法や保護者とのかかわり方を学ぶとともに、利用児童の発達に応じた障害児個別支援計画に基づく適切な支援方法について再確認する。また演習にて、自己の支援内容の振り返りや事業所間の情報交換を行い、障害児支援のさらなる質向上を目指します。

## 6. 日 程

9:30 10:00

12:30 13:30

16:00

受付	<p>&lt;講義&gt;</p> <p>「障害児支援の基本理念」</p> <p>「発達段階に応じた支援方法」</p> <p>「保護者との関わり方」</p>	休憩	<p>&lt;演習&gt;</p> <p>「個別支援計画に基づく適切な支援方法の確認」（仮）</p>

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

## 7. 申込期限

令和元年8月10日（土）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

## 8. その他（注意事項等）

（1）受講決定者に対し、事前レポートを設けます。「受講決定のお知らせ（事前レポート）」を受け取った方は、期限までに名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センターのホームページで、事前課題の回答を入力いただき登録ください。

※詳細はホームページに掲載されている「事前レポート提出方法のご案内」をご覧ください。

（2）研修会場には、受講者用の駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。

（3）昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。

（4）講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。

（5）空調管理の調節が難しいため、ご自分で着脱等の調節ができる服装で受講ください。

（6）当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

## 「知的障害研修」開催要項

研修番号  
21

## 1. テーマ

## 「知的障害者の意思決定支援と特性を捉えた対応・支援について」

## 2. 講 師

日本相談支援専門員協会 顧問

長野県自立支援協議会 会長 福岡 寿 氏

〈プロフィール〉東京大学文学部卒業。中学校教師を経て、知的障害者更生施設長峯学園指導員、地域療育拠点施設事業コーディネーターを務め、現在は、社会福祉法人高水福祉会 参与、北信圏域障害者生活支援センター 所長。長野県自立支援協議会会長、長野県地域支援力向上スーパーバイザー、長野県発達障害者支援対策協議会支援体制部会長の他、日本相談支援専門員協会 顧問や厚労省発達障害、重症心身障害児者の地域生活モデル事業検討委員等。

〈著書〉

『コーディネーターが開く地域福祉』(2002年 ぶどう社) 編著。『施設と地域のあいだで考えた』(1998年 ぶどう社)、『発達障害の子がいる保育園での 集団づくり クラスづくり』(2013年 筒井書房)、『相談支援の実践力』(2018年 中央法規) 以上単著。他多数

## 3. 開催日時及び会場

【日 時】令和元年11月29日(金) 10:00~16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

(名古屋市北区清水4-17-1 最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅)

## 4. 定員及び対象者

【定 員】100名

【対象者】障害者(児)支援関係に勤務する職員

## 5. ねらい

専門職として知的障害の特性について理解を深めるとともに当事者のニーズを把握し、それに沿った支援方法、家族の思いへの理解を深める。

また、個別支援計画への落とし込みやモニタリング等についても学ぶ。

## 6. 日 程

	9:30 10:00	12:00 13:00	13:45 14:00	16:00
受付	講義 「障害の重い方、知的障害者の意思決定支援について」	休憩	講義 「知的障害者の地域生活支援と家族支援」	休憩

※昼食休憩1時間、その他適宜休憩を設けます。

※5分前から注意事項等をご連絡いたします。

**7. 申込期限****令和元年8月10日（土）**

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから  
お願いします。 (<http://care-net.biz/23/zaitakunet/ex04-2.php#kensyu-b>)

**名古屋市社協** と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※8月19日（月）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には  
「落選のお知らせ」をFAXで通知いたします。

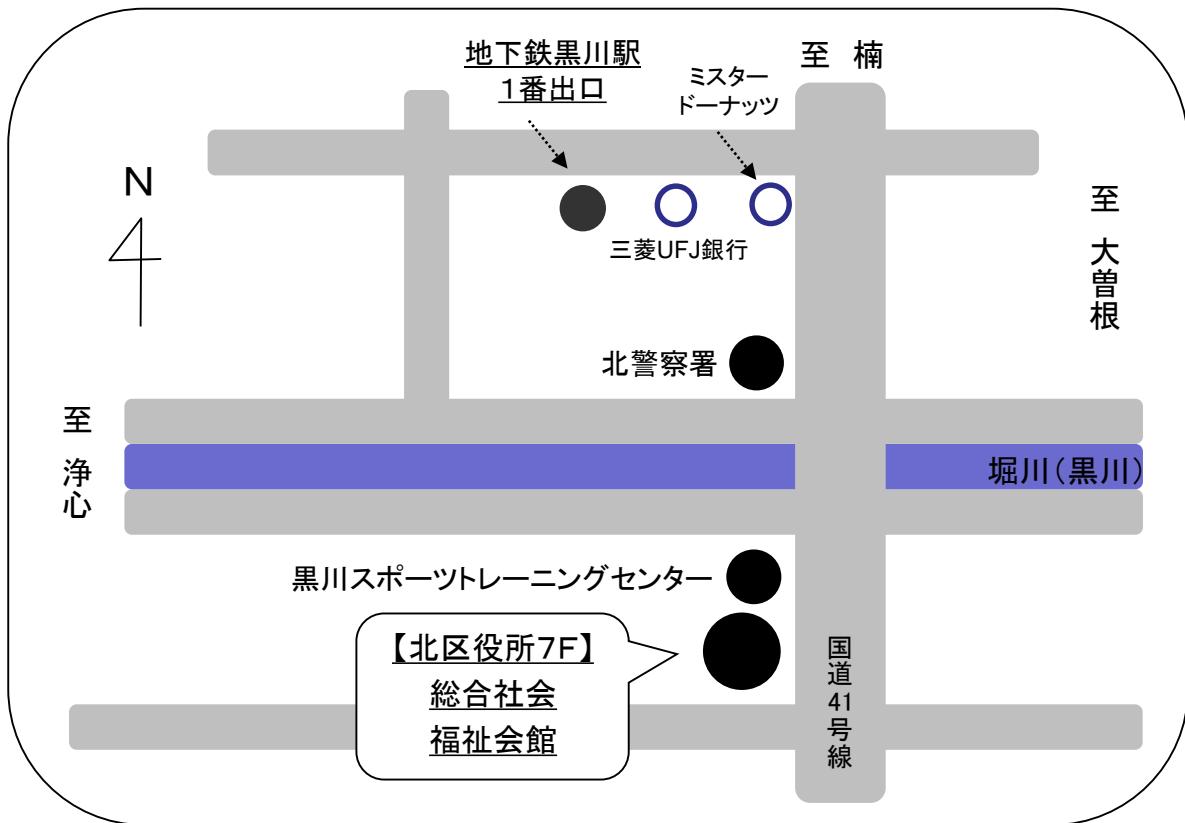
**8. その他**

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (2) 昼食は各自でおとりください（会場での飲食は可能です）。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。  
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (5) 当日は所属で使用されている名札をお持ちください。

# 研修会場案内図

## 【名古屋市総合社会福祉会館】

名古屋市北区清水四丁目17番1号



(公共交通機関のご案内)

①地下鉄でお越しの場合

・地下鉄名城線「黒川」駅下車 1番出口より 徒歩5分

②市バスでお越しの場合

・市バス「北区役所」バス停下車 すぐ

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

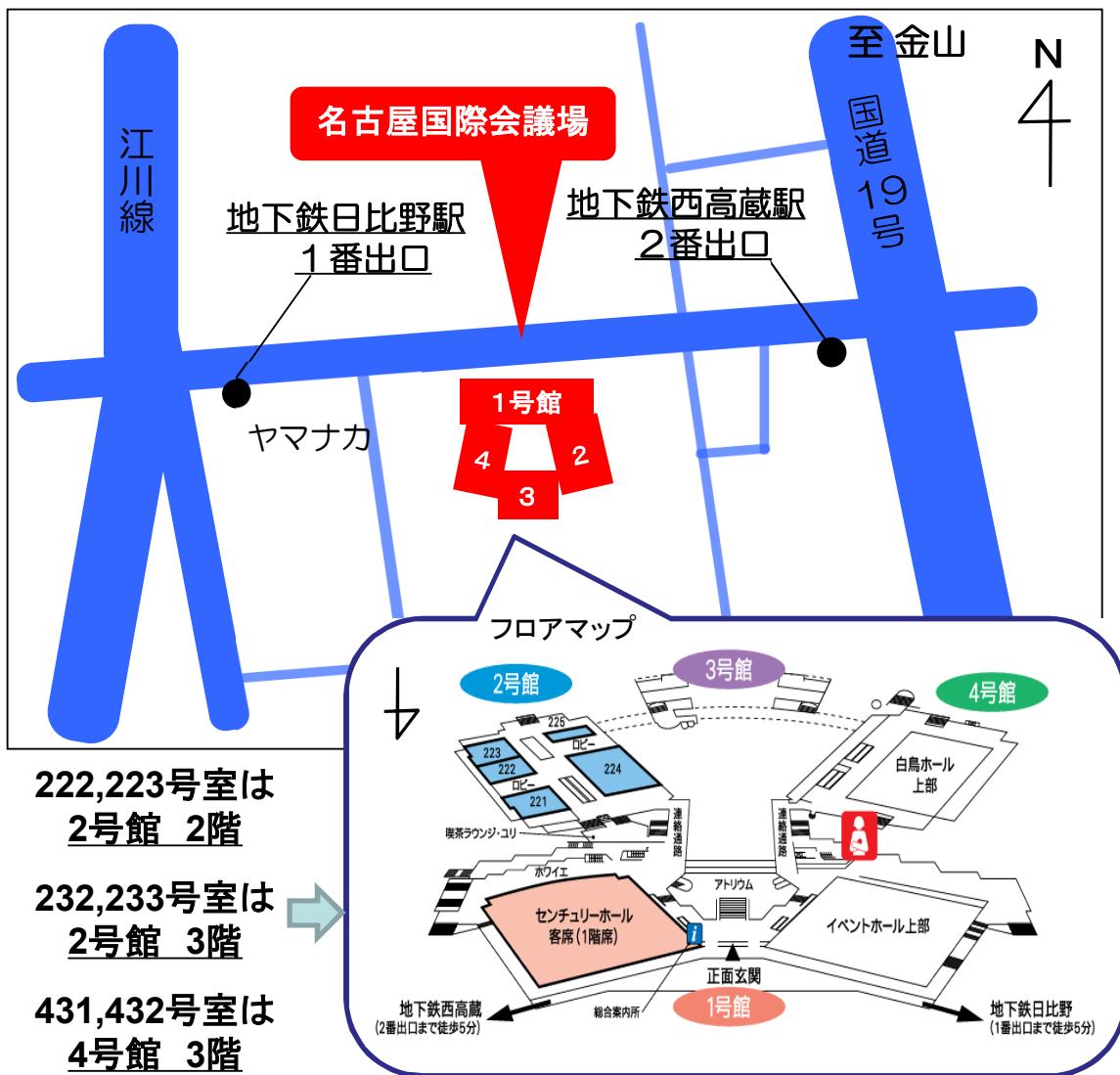
※北区役所駐車場は利用できません。北区役所駐車場に駐車した場合は移動していただきます。

# 研修会場案内図

## 【名古屋国際会議場】 名古屋市熱田区熱田西町1番1号

(公共交通機関のご案内)

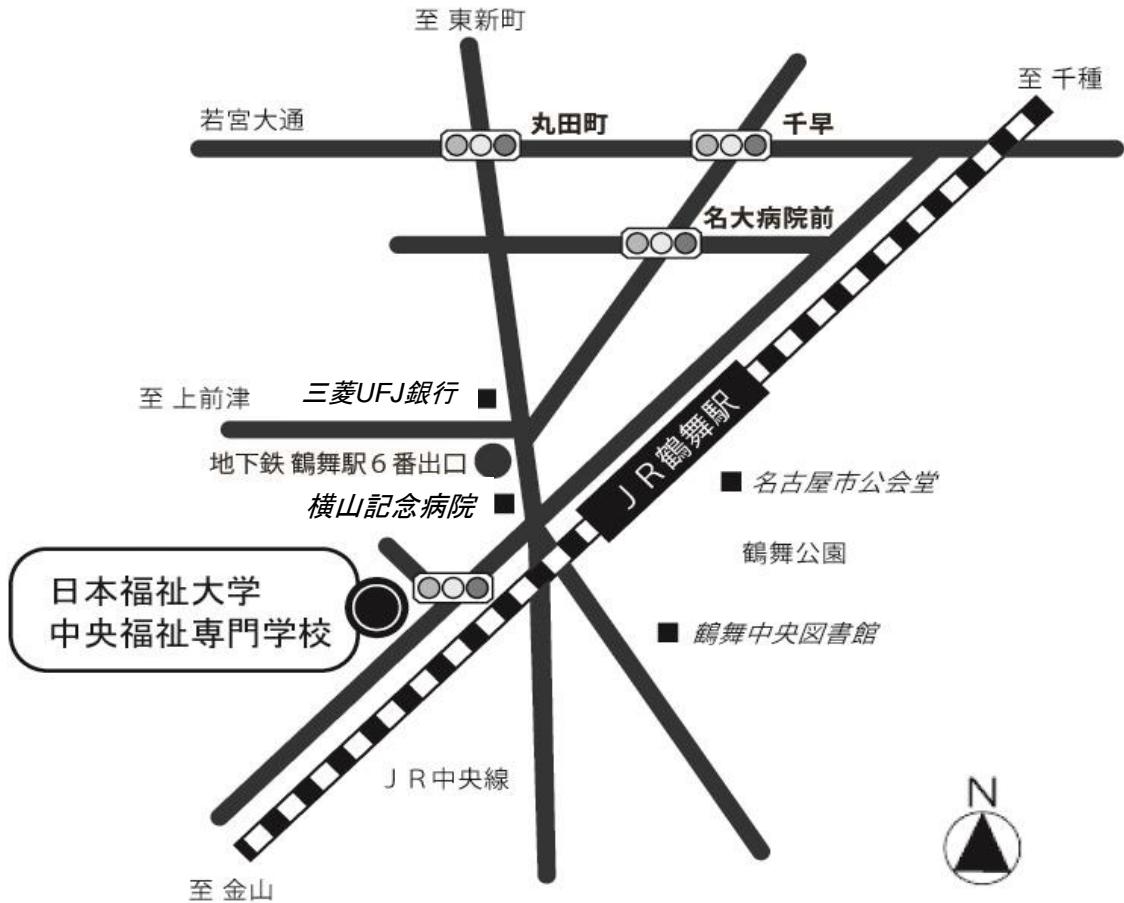
地下鉄名城線「西高蔵」駅下車 2番出口より 徒歩5分  
地下鉄名港線「日比野」駅下車 1番出口より 徒歩5分



◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

# 研修会場案内図

## 【日本福祉大学中央福祉専門学校】 名古屋市中区千代田3-27-11



### (公共交通機関のご案内)

<JR>中央線「鶴舞」下車 公園口より南へ徒歩4分

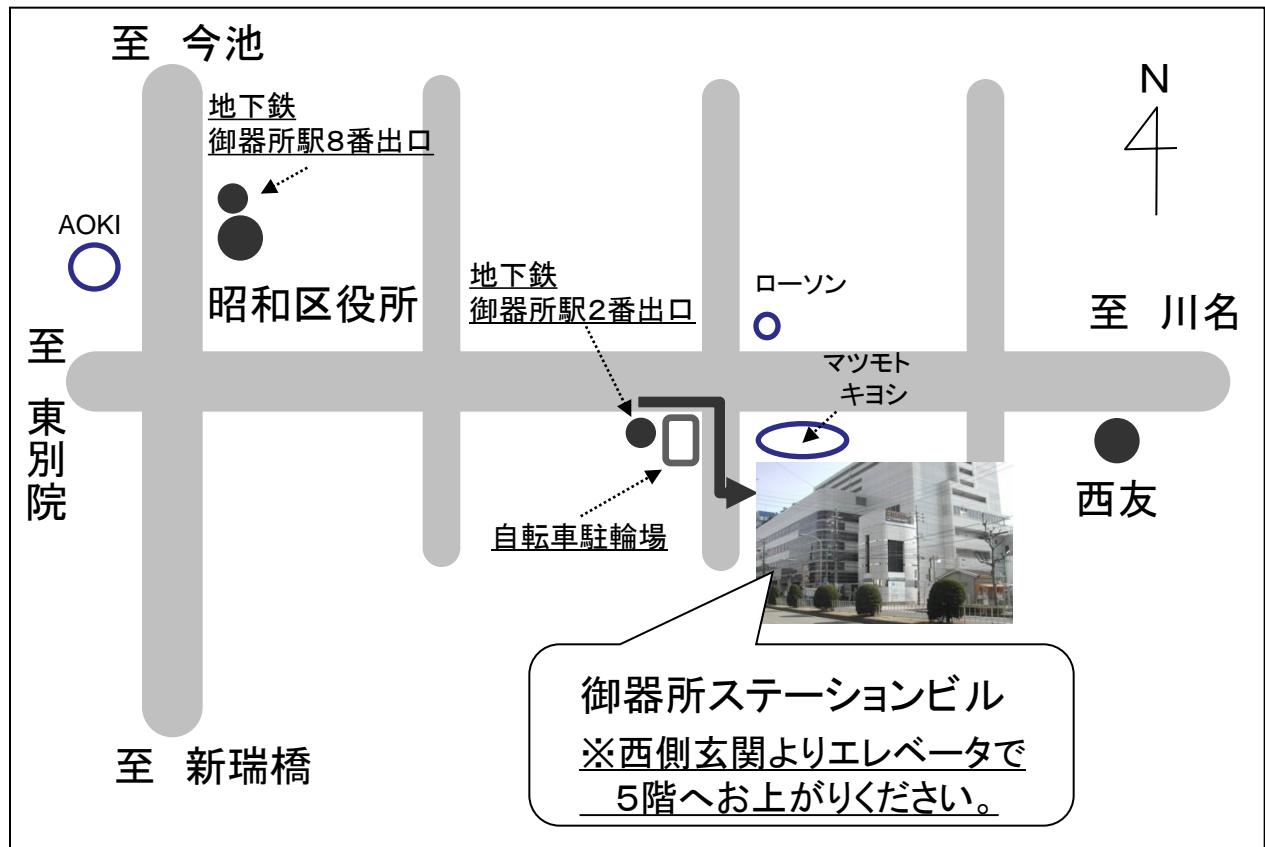
<地下鉄>鶴舞線「鶴舞」下車 ⑥番出口より南へ徒歩3分

「横山記念病院」を目印に、JR中央線の高架に沿って、金山方面に進んでください。

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

# 研修会場案内図

【名古屋市高齢者就業支援センター 大会議室】  
名古屋市昭和区御器所通3-12-1  
御器所ステーションビル5F



(公共交通機関のご案内)

- ・地下鉄でお越しの場合  
鶴舞線・桜通線「御器所」駅下車 2番出口より 徒歩1分
- ・市バスでお越しの場合  
「御器所通」停留所下車 徒歩5分

※会場に駐車場はありません。

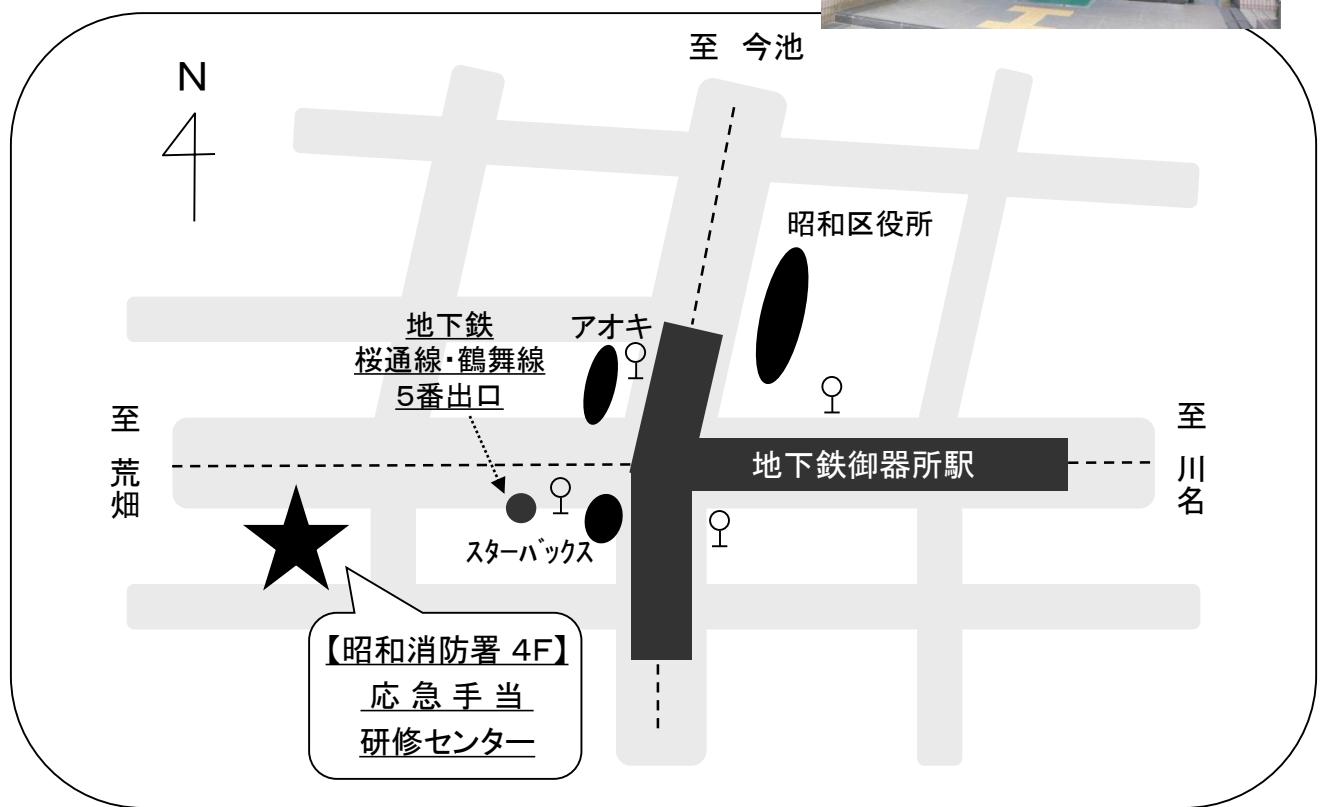
◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇

# 研修会場案内図

## 【応急手当研修センター】

昭和区御器所通2-16-1

(昭和消防署 4F)



(公共交通機関のご案内)

### ①地下鉄でお越しの場合

- ・地下鉄鶴舞線「御器所」駅下車 5番出口より 徒歩3分
- ・地下鉄桜通線「御器所」駅下車 5番出口より 徒歩3分

### ②市バスでお越しの場合

「御器所通」バス停下車 徒歩3分

◇ 研修会場へは、公共交通機関をご利用ください ◇